



## 茂原六斎市&マルシェを2年ぶりに開催!

### 茂原六斎市&マルシェ

江戸時代から続く伝統ある茂原六斎市を盛り上げるため、昌平通り（茂原郵便局周辺）において「茂原六斎市&マルシェ」を茂原六斎市再活性化協議会（事務局：市農政課）の主催により開催しました。

採れたての新鮮野菜や加工品、植木や雑貨などを販売する露店が約30軒出店。今回は、若い世代にも茂原六斎市を盛り上げてもらうため、茂原樟陽高校の生徒がブースを設け、本市の課題を探究するキャリア教育ゼミの事例発表も行われ、多くの来場者で賑わいました。



▲2年ぶりの開催ににぎわう昌平町通り



▲年齢に関係なく、みんなで気軽に楽しめます

## 誰でも気軽に楽しめる「タッチバレーボール」



### 第29回茂原市スポーツレクリエーション祭

市民体育館にて、茂原市発祥のスポーツである「タッチバレーボール」の体験会を開催し、21チーム、計100人が参加しました。

タッチバレーボールのボールは一般的なバレーボールよりも非常に軽く軟らかいため、誰でも気軽に楽しめるのが特徴。今回は経験の有無でグループを分けて試合を行い、老若男女、幅広い世代が交流しました。



## 災害時応急対策の強化

### 災害時における支援協力協定の締結式

市では、SOUセレモニー株式会社と、「災害時における遺体の収容等に関する支援協力協定」を締結しました。

本協定は、市内で大規模災害が発生したときに、多数の死者および被災者が一時的または集中的に発生するような方が一の事態において、必要な事項を定めたものです。

これにより、大規模災害時における遺体の収容等が期待されるとともに、より迅速な応急対策の円滑化が図れるようになります。



▲田中市長（左）、SOUセレモニー(株)坂井時正取締役副社長



▲除幕に立ち合った鶴枝保育所の園児たち

## ヒメハルゼミ、ふるさとへ帰る



### ヒメハルゼミのオブジェの寄贈式

東日本電信電話株式会社千葉事業部より寄附されたヒメハルゼミのオブジェの寄贈式が鶴枝公民館にて行われました。

このオブジェは、平成4年にNTT東日本茂原ビル（八千代）脇の電話ボックスに設置されたもの。電話ボックスが撤去されるに伴い、鶴枝公民館の外壁へ移設されました。

田中市長は「市内外へPRし、茂原市が脚光を浴びることを期待したい」と述べました。